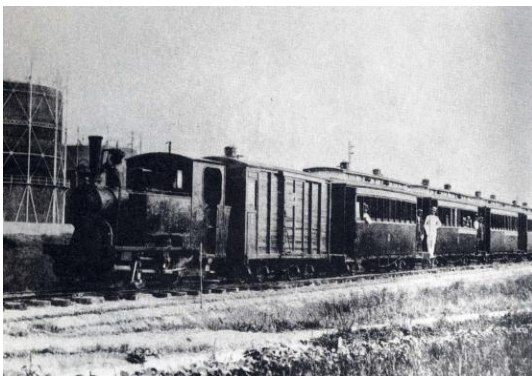




三幡轻便鉄道開通 100 周年記念大会

9月5日(土)6日(日) 於山陽学園大学 短期大学

三幡轻便鉄道が走っていたところは、古代は吉備の穴海と呼ばれ、その中央に位置します。江戸時代には池田綱政の代に津田永忠によって、干拓が行われ、三幡港もできあがります。三幡港は明治 18 年(1885 年)には明治天皇が御上陸されています。今回は 100 周年にあたる三幡轻便鉄道について書きます。

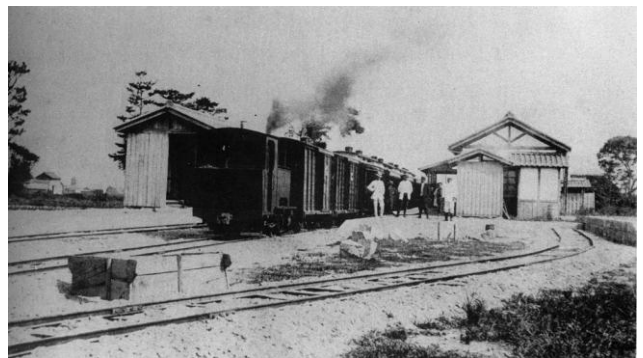


岡山瓦斯付近の三幡轻便鉄道

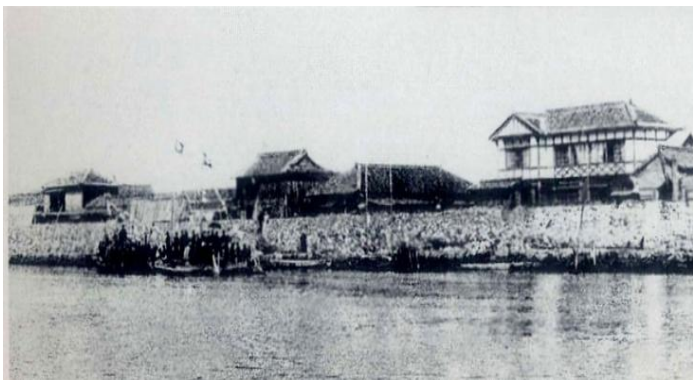
今からちょうど 100 年前、三幡轻便鉄道は大正4年(1915 年)8月 11 日に三幡港から桜橋まで、6.1km の距離間で開通しました。

大正 3 年 2 月に、上道郡内の敷設沿線村長や地元の有力者により、轻便鉄道会社が設立され、わずか 1 年 6 カ月余で計画、設計、用地取得から路線工事、駅舎まで完成させています。現在では考えられないスピードで竣工しました。これは宇野港開港と宇野線開業により、三幡港の機能が低下し、その対応策として、地元が団結して創設したものでした。貨物輸送として岡山瓦斯への石炭輸送が主な運行でしたが、旅客輸送としても、岡山紡績への女工さんの通勤、山陽女学校への通学、宮道駅の海水浴場への利用等、住民に慕われて使われていました。昭和 3 年の岡山市主催大日本勧業博覧会で使われた水族館を三幡駅に移設して乗客増を図ろうとしましたが、その支出や、京橋まで大きな船舶が入るようになることで、経営状況が悪くなり、昭和 6 年平井村が岡山市と合併するに至り、市の道路拡幅計画に合わせ、突然予告なく運行中止、廃業しました。

創業時は雨宮製作所の蒸気機関車が運行していましたが、その後ドイツのコッペル社製の蒸気機関車(C911)が導入されました。三幡轻便鉄道の所持していた機関車は、井笠鉄道と福島県の日本硫黄耶麻軌道部(磐梯急行電鉄)に譲渡されました。福島は沼尻鉱山の硫黄鉱石を運ぶ貨物輸送主体の鉄道でしたが、スキー温泉等の旅客輸送にも使用されていました。療養中の丘灯至夫が、沿線の風景をヒントに作詞し、岡本敦郎が歌う『高原列車は行く』の舞台になりました。福島との縁は犬島に日本硫黄の会社があったことからのようです。ドイツのコッペル社製の蒸気機関車(C911)はこちらに譲渡されました。



宮道駅周辺



三幡港(左)と三幡駅(右)

現在、当時の鉄道運行の痕跡はほとんど残っていませんが、わずかに平井元町と上平井の境界である眼鏡医療技術専門学校横の用水路にアパート(橋台)の跡があります。

15 年余という短い運行でしたが、三幡轻便鉄道を調べることによっても、その当時の岡山や日本の様子がわかります。

地元の人たちが、結束してあっという間にプロジェクトを完成させたこと。通勤や通学にも使われていたこと。海水浴や潮干狩り、遠足にも使われていたことなど。決めたらすぐやることなどは先人から再び学ばなければと考えます。

金谷

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



今回の100周年記念大会について、三幡鉄道研究会・内田武宏会長にうかがいました。(Q. 金谷 A. 内田)

Q.三幡鉄道研究会はいつごろから活動を始めているのですか？

A.2012(平成24)年9月9日、学区内外の有志らで結成しました。私たちが子供の時代に、戦前は平井から三幡にかけて三幡鉄道が走っていたとお年寄りから聞かされてきました。100年前に走っていた鉄道がどういふものか調べてみようというところからこの会は始まりました。歴史を調べていくと、さまざまなことがわかります。一番すごいと思ったことは、地元の沿線村長の政治力、結束力、そして当時の技術力です。工期1年数カ月で開通にこぎつけたことは現在のわれわれが学ばねばならないことでしょう。

Q. この100周年記念大会は9月5日6日に行われますが、今年初めから事業は始まっていると聞いています。

A. 事業期間は平成27年1月1日から年末までです。1月には記念歌「三幡軽便列車は行く」応援歌「岡山、今や顔」、「不老少年少女の歌」をCDで制作しています。これはこの100周年記念にと作詩家、貴船たゞしさんに依頼して出来上がりましたが、1月18日に収録して、1週間後にお亡くなりになられました。歌も作詩も彼の遺作になりました。

2月には福島県庁と猪苗代町を表敬訪問(2月16日~18日)し、「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」と交流しました。

その後、レール、トロッコの復元(2月から)(ドコモ平井店北側)にかかり、5月9日には復元のお披露目を行いました。6月には、天満屋地下アトスペースでの三幡軽便列車開通100周年記念展示会(6月3日~8日)をおこないました、

現在は沿線の旧駅周辺の店舗で、三幡軽便鉄道開通100周年記念スタンプラリー(7月、8月)をやっています。



蒸気機関車 1/2 模型製作中



猪苗代町代表敬訪問

Q. いろいろな方が協力して下さっていると聞いてます。

A. 就実・森の学校において、蒸気機関車子供神輿を製作しています。それから、県立東岡山高校、県立岡山聾学校に生徒さんが旧駅の駅名板、史跡案内板を製作してくれています。また、県立岡山東商業高校生徒さんによる屋外アート製作もあります。旧沿線の連合町内会、町内会にもお世話になっております。

Q 大会当日は？

A. まず、記念式典、三幡軽便鉄道にゆかりのあった方々を顕彰致します。記念講座もあります。RACDAの岡会長にも講義をしてもらいます。

創業者のゆかりの方で、岡山出身の国際的画家、ベル串田の作品の展示(ベル串田記念館所蔵)があります。

アトラクションは、平井小学校児童や保育園の園児の演奏、うらじゃおどり、和太鼓の演奏、詩吟、県警音楽隊の演奏、岡山混声合唱団の合唱、演劇「沖新田ものがたり」など、楽しんで頂けると幸いです。

みなさん、100年に一度の記念大会です。ふるってご参加ください。



レール・トロッコ復元披露

